

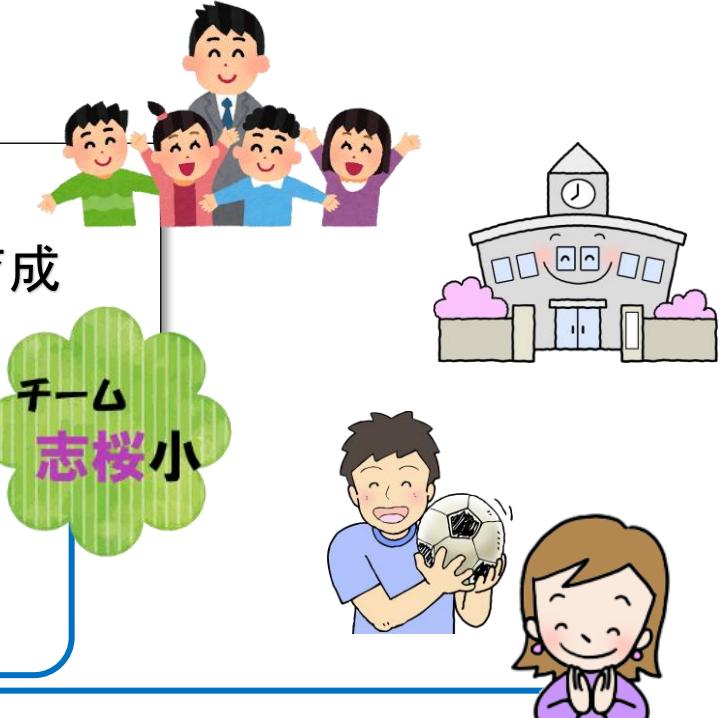
令和7年度 宝達志水町立志桜小学校 学校経営方針



持続可能な共生社会のつくり手となる児童の資質・能力の育成
「子どもを主語にする教育」の実現

1 【教育目標】

- Well Being
 - 信 頼
 - 安心・安全
- 児童・教職員が楽しく生き生きと学び、働く学校（心理的安全性）
家庭・地域から信頼される学校
児童・保護者にとって安心・安全な学校



2 【めざす学校像】

- 目標をもち 自ら進んで学び よく考える 知恵のある子
- 強く しなやかな心をもち 温かな人間関係をつくれる子
- 困難に打ちかつ気力・体力のある子

自ら 全力
協力 会話力
努力 挑戦

3 【めざす児童像】

- 組織貢献力
 - 機動力
 - 信頼
- 学校経営方針を理解し、心身共に健康で、明るく意欲的に組織の一員として力を発揮する教職員
協働的に取り組む教職員
児童や保護者から信頼される教職員

4 【めざす教職員像】

子ども達のよさ
やろうとしている姿勢を認める

R7 重点

I 児童の「学力」を育む。

- (1) 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働きかせ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点を踏まえながら、ねらいの確実な達成を目指す授業改善を図る。
(複線型授業→単元の選択・発達段階及び学年の実態に応じた取組)
- (2) 「非認知能力」の育成を教育活動のベースととらえ、教育活動全体において育む。
学習指導と生徒指導の一体化 (授業における共通実践)
- (3) 学力調査等の結果を基に基礎学力を確実に定着させた上で、個々に応じたきめ細やかな指導の工夫を実践する。
- (4) 基礎学力及び自学力を伸ばすための帯タイムを計画的に実施する。(学年の実態に応じた習熟度別の取組)

II 児童の「人間力」を育てる。 統合前より共有 「融和」「創る」をキーワードに

- (1) 「挨拶が進んでできる」「返事ができる」「黙って掃除する」「時間を守る」等の生活習慣を身に付けさせるため、全教職員がまず実践し、ほめることを中心とした粘り強い指導を行う。
- (2) 読書ノートの活用・図書室運営の工夫等を通して、読書活動の充実を図る。
- (3) 思いを素直に表現でき、それを友達が認めてくれる穏やかな学級づくりのためにアンケートを計画的に実施分析し、対応策を講じる。いじめの未然防止・早期発見・迅速な対応
心の小さなSOSを見逃さない支援体制 →自己肯定感UP&承認
- (4) 心に響く道徳の授業づくりに努めるとともに、全教育活動で道徳教育を推進する。
- (5) 体力課題を意識した体力向上の取組を全校で実施し運動能力の向上を図る。

III 「教師力」を伸ばす。

- (1) 「教師は、授業で勝負する」という意識を強く持ち、令和の日本型学校教育の趣旨を理解しつつ、s-pdcaを生かした協働的な学校研究に沿う授業の共通理解・共通実践を図る。
- (2) 教師力向上に向けた授業整理会及び研修会には、前向きに参加し必ず発言する等、教師集団が「学び合う」姿勢をもつ。
- (3) 研修履歴を活用した適切な受講やNEXT若プロの視点を活かした日常的OJTにより、自らの教師力を伸ばす。
- (4) 人事評価制度を教師力向上に活かすため、校務分掌等の役割等を自覚し、自己評価が可能な目標を設定し、実践を積み重ねる。
- (5) 一人一人がそれぞれの持ち場でリーダーシップを發揮し、積極的に学校運営に参画する。

IV 地域によりそい信頼される教師・学校を目指す。

- (1) 教育公務員としての自覚を持ち、働き方を意識した自己管理能力を高めとともに、教職員の心理的安全性を確保する
- (2) 服装・時間厳守・電話・来校者への対応など、職業人としてのマナーを実践する。
- (3) 保護者や地域の声を真摯に受け止め、対応を丁寧且つ迅速に行う。
- (4) 正確な情報収集と丁寧な情報発信を行い、学校としての説明責任を果たす。→ホームページ・各種通信
- (5) 地域のモノ・ヒト・コトを積極的に活用し、開かれた学校づくりに努める。
→コミュニティスクール

V 危機管理の徹底を図る。

- (1) 学校外へ配布する文書は事前に管理職へ見せる。
- (2) 保護者や地域への対応については、事前に管理職に相談し対応を検討する。
報告・連絡・相談の徹底 未然防止
- (3) 危機を予想し、未然に防ぐ最大の努力をする。
→防災教育の充実・震災後の児童の心のケア
丁寧なアレルギー対応
万一、事故等が発生したら被害を最小限に食い止めるため、一致協力して迅速に行動する。

